

<学校名> 草加市立川柳小学校
<所在地> 草加市青柳7丁目27-10
<電話> 048-931-5025
<本事例の特徴>

本校では、中学年以上は外国語の授業でALTと日常的にふれあったり、1・2年生を対象にALTをゲストとした外国語体験学習を行ったりしている。しかし、ALTには面識はあるが、どこの国出身なのか、どんな文化で育ってきたのかなどは知らない児童が多い。本事例では、4年生の総合的な学習の時間での「世界は友だち」の学習の1時間目（導入）の時間を使って、ALTの海外経験を生かした国際理解教育の取組について紹介する。

<具体的な取組や成果>

○総合的な学習の時間「世界は友だち」～ALTによる文化紹介～

- ・フィリピン人のALTを招き、フィリピンの生活習慣や観光地、食べ物、人気のものについて紹介した。具体的な映像や写真を各クラスでビデオ会議アプリケーションを活用し紹介していった。



○児童の感想より（一部）

フィリピンは小さい国だけど、有名なものがたくさんあり、地元の人に親しまれていることが分かった。次はロシアや中国みたいな大きな国の食文化や観光地を調べてみたい。

日本とフィリピンの食事では、同じ名前のもので形や味などが違い、文化などに影響されていると分かった。これからの総合的な学習の時間では、日本と他の国での伝統や文化による食べ物の違いを調べたい。

- 写真によるフィリピンの紹介に加え、ビデオ会議アプリケーションを活用して映像を見せることで、児童は体験的にフィリピン文化を感じ取ることができた。また、今回の活動を経て、他の国の文化に関心を持つ児童が多くなり、具体的にどの国の何を調べたいのかを明確にすることができた。

詳細については、草加市立川柳小学校ホームページへ
<http://www.soka-stm.ed.jp/kawayanagi-syo/>